

1 国語基礎力強化シート（漢字・小三）

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

少しずつおぼえてね！



／ 10

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 新しい工事に着手する。
- 2 休み時間は屋外で遊ぶ。
- 3 会長の仕事を委ねる。
- 4 都合をつけて出かける。
- 5 病院で投薬される。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 こん虫がうかする様子を見る。
- 2 わく内に数字をきにゆうする。
- 3 鳥のけんきゆうをする。
- 4 雨にぬれたろめんが黒く光る。
- 5 ふえをふく少年の絵がある。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「着」は「着席」と同じ読みだよ。
 - 2 「屋」は「屋上」と同じ読みだよ。
 - 3 「委」は「○だ」（ねる）と読むよ。
 - 4 「都」は「と」と読んではいけないよ。
 - 5 「投」は「投手」と同じ読みだよ。
- 二 1 「うか」とは「昆虫が成虫になって、□が生えること」だよ。
 - 2 「き」は「き」と「にゆうがく」の「にゆう」の組み合わせだよ。
 - 3 「けん」の部首は「いしへん」、「きゆう」の部首は「あなかんむり」だよ。
 - 4 「ろめん」とは「どうろ」の「ひようめん」のことだよ。
 - 5 「たけかんむり」と「りゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。

2 国語基礎力強化シート（漢字・小二）

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

こつこつ
やろうね！



／
10

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてに書きましょう。

- 1 作物の生長は、天気に左右される。
- 2 走行時間を調べる。
- 3 食品の売買をする。
- 4 駅から学校までの時間を計る。
- 5 人事をつくして天命を待つ。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で正しい読みを、ひらがなで書いてに書きましょう。

- 1 やくしやになるという夢をもつ。
- 2 相手にまさる強い気持ちがある。
- 3 したしい人に相談する。
- 4 紙のちゅうおうに円を書く。
- 5 力を合わせて大きな石をはこぶ。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「左」は「左折」と同じ読み、「右」は「〇う」と読むよ。
- 2 「走」は「起者」や「助起」と、「行」は「行進」と同じ読みだよ。
- 3 「うりかい」ではないよ。「売」も「買」も同じ読みだよ。
- 4 「図る」や「測る」と同じ読みだよ。
- 5 「天」は「天気」と、「命」は「命令」と同じ読みだよ。
- 二 1 いろいろな「やく」をえんじる「もの」のことだよ。
- 2 気持ちの強さで相手に「か（つ）」んだね。
- 3 「おや」こそ「したしい」人かも。
- 4 「ちゅうおう」は、まんなかのことだよ。
- 5 「うんどう」の「うん」の訓読みだよ。

3 国語基礎力強化シート（漢字・小三）

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

くりかえして
やってみよう！



／
10

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 小さな国の君主になる。
- 2 先生に教わったことを書く。
- 3 名目だけの役割。
- 4 めずらしい雲海を目にする。
- 5 顔色をうかがう。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 他の国のげんごを学ぶ。
- 2 給食とうばんになる。
- 3 見えるのはひょうさんの一角だ。
- 4 ちがう学級の人とこうりゆうする。
- 5 ひとしく分ける。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「君」、「主」ともに音読みで読もう。 2 「おしえる」ではなくて「お○わる」だよ。
- 3 「目」を「め」と読んでほだめだよ。
- 4 「くも」、「うみ」ではなくて、どちらも音読みを試みよう。
- 5 どちらも、そのまま訓読みで読むといいよ。
- 二 1 「げん」も「ご」も言葉に関係している漢字だね。
- 2 「じゅんぱん」にその役目が「あたる」んだね。
- 3 「ひょうさん」は「こおり」の「やま」のことだよ。「こおり」は「水」が固まったものだから、漢字が似ているよ。
- 4 「こう」の訓読みは「まじる」、「りゆう」は「ながれる」ことだよ。
- 5 「ひとしく」分けると「びょうどう」になるね。

4 国語基礎力強化シート（漢字・小三）

書いて覚えようね！



分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 みこしが大通りを練り歩く。
- 2 多才な人をしようかいする番組。
- 3 空調機能に優れている。
- 4 おもしろい文庫本を手に入れた。
- 5 朝礼で話をする。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 じどうでふたが開く。
- 2 急にしつないの温度が上がる。
- 3 遊びに行けないりゆうをたずねる。
- 4 私は友人へのじよりよくをおしまない。
- 5 来週の下よていを立てる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 んんどを「練る」、案を「練る」と同じ読みだよ。
- 2 「多」を音読みしよう。「お・お・い」は訓読みだよ。
- 3 「空気」、「調整」と同じ読みだよ。 4 「学級文庫」の「文庫」だよ。
- 5 「あさ」だと訓読み、「○よ○」だと音読み。人に会ったら「礼」をします。
- 二 1 「しぜん」に「う・こ」いてふたが開くんだね。
- 2 「きようしつ」の「しつ」と同じ漢字だよ。「ない」の漢字は「うち」とも読めるよ。
- 3 「りか」の「り」と「じゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。
- 4 「たすけたい」という思いが「ちから」になって出るんだね。
- 5 「よしゆう」や「よやく」の「よ」、「けつてい」や「あんてい」の「てい」を書くよ。

5 国語基礎力強化シート（漢字・小三）

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

何回も見直して
ね！



／
10

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでい
ねいに書きましょう。

- 1 『はやぶさ』打ち上げの秒読み段階に入る。
- 2 転んできずを負う。
- 3 作者の意図を考える。
- 4 漢字の画数を数える。
- 5 休みを返上する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きま
しょう。

- 1 各自が自由にさらに取って食べる。
- 2 しょうそくがとどえる。
- 3 列をととのえて歩く。
- 4 道ばたに落ちているゴミをひろう。
- 5 まいとし実がなる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「秒」は「三秒ルール」と同じ読みだよ。
- 2 「荷物を背負う」にも「負う」が使われているよ。
- 3 「図」は「ず」と読んではいけないよ。
- 4 「画」は「一画目、二画目」と使うよ。
- 5 「返」は「返事」や「返品」と同じ読みだよ。
- 二 1 「血」と似ているよ。
- 2 「しょう」は「きえる」、「そく」は「いき」と同じ漢字だよ。
- 3 「せいれつ」の「せい」と同じ漢字だよ。
- 4 「捨」と書いたら「すてる」になるから注意。
- 5 「まい」は「まいにち」の「まい」と同じだから、「母」と書かないように。

6 国語基礎力強化シート（漢字・小三）



正しく覚えようね！

／
10

第 学年 組 番 名前

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 童心に返って遊ぶ。
- 2 命令に反発する。
- 3 答えが全く分からない。
- 4 有名な詩集を買う。
- 5 しばらく雨宿りをする。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 ちまなこになってさがす。
- 2 わらう門にはふく来る。
- 3 何事にも一長いったんがある。
- 4 のうぎように力を入れる。
- 5 ようもうが原料になっている。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「童話」の「童」と同じ読みだよ。
 - 2 「発」は「はつ」とは少しちがう音だよ。「出發」も同じだよ。
 - 3 「全然」という言葉を「○つたく」と言いかえることもあるよ。
 - 4 「詩」を「集め」たものが「詩集」だよ。
 - 5 「雨」は「あ○」と音を変えるよ。「雨がっぱ」も同じ読みだよ。
- 二 1 「皿」とまちがわないように。
 - 2 「こうふく」の「ふく」だよ。
 - 3 「たん」は「長」と反対の意味の漢字を書くよ。「長所」と「たん所」とも言うよ。
 - 4 「ぎよう」は「さぎよう」や「じゅぎよう」の「ぎよう」と同じだよ。
 - 5 「ようもう」とは、「ひつじ」の「け」のことだよ。

7 国語基礎力強化シート(漢字・小三)



がんばっているね!

/ 10

分からないときは
(ヒント)を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねに書きましょう。

- 1 なわとびの練習をする。
- 2 新緑が目に入る。
- 3 気に入った洋服を着る。
- 4 終始笑顔で会話をする。
- 5 代打で出場する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねに書きましょう。

- 1 南極大陸にあるしょうわ基地。
- 2 きんじよに広い公園がある。
- 3 急なさかみちを上る。
- 4 しかいに治りようしてもらう。
- 5 ペンをふでばこにしまう。

5	4	3	2	1

<ヒント>

- 一 1 教科書や問題集には、「練習問題」があるよ。
- 2 「緑」は「みどり」と読まずに、音読みで「〇よ〇」と読むよ。
- 3 着る物を売っている所を「洋服売り場」と表すよ。
- 4 「一日中」のことを「終日」と言うよ。
- 5 「交代」は「こうたい」だけど、「代打」は「たい」とは少しちがうよ。
- 二 1 「しょう」は、「照」とにている漢字で、「わ」は「へい村」の「わ」だよ。
- 2 「ちかいところ」だよ。それぞれの字を音読みしているよ。
- 3 「さか」は「つちへん」だよ。
- 4 「しかい」は「は」を治すいしやだよ。
- 5 「ふで」は「えんぴつ」の「ひつ」と同じ漢字だよ。「はこ」という漢字は、「たけ」「き」「め」の組み合わせだよ。

8 国語基礎力強化シート（漢字・小三）



文をちゃんと読もうね

分からないときは
「ヒント」を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 食べ放題の店に行く。
- 2 船が三か月ぶりに帰港する。
- 3 どうぶを二丁買う。
- 4 漢字の部首を辞書で調べる。
- 5 川の流^{なが}れが速い。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 すいぞくかんに行く。
- 2 川のむこう側^{がわ}に家がある。
- 3 いんしゆ運転を取りしまる。
- 4 銀行のつうちよう^{ちよう}を持っている。
- 5 自転車^{じてんしゃ}にのる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「放」は「ほお」ではないから気をつけてね。
- 2 「帰」、「港」ともに音読みをするよ。
- 3 住所で使われる「一丁目」「二丁目」と同じ読みだよ。
- 4 「首」は「くび」ではないよ。短歌を教えるときに、「二首、「二首」と使うよ。
- 5 「早い」も同じ読みだよ。
- 二 1 「かぞく」の「ぞく」、「としよかん」の「かん」を使うよ。
- 2 「右をむく」という場合に使う漢字だよ。
- 3 「いんしゆ」とは、「さけ」を「のむ」ことだよ。
- 4 「つう」は「つうじる」という漢字だよ。「ちよう」は、「巾^{ぬす}」に「長」という字を組み合わせてできるよ。
- 5 漢字を書くときに、三つの横画の長さに気をつけよう。

9 国語基礎力強化シート (漢字・小三)



どんどん進んで
るね!

/ 10

分からないときは
(ヒント)を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 わが市には寺社が多い。
- 2 黄金にかがやく。
- 3 根気よく本を読む。
- 4 ちよほど死角になる場所がある。
- 5 外国で見聞を広げたい。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 新たな地区にしんしゆつする。
- 2 前を走っている人をおいかける。
- 3 なみまにただよう小舟が見える。
- 4 三のばいすうを答える。
- 5 ていねいな字でノートにうつす。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「寺」は「てら」と読まないよ。
- 2 この場合は「こがね」ではないよ。
- 3 ずっと続けられることを「根気がある」と言うよ。
- 4 「死」は「必死」と同じ読みだよ。「角」は「かど」とは読まないよ。
- 5 「百聞は一見にしかず」ということわざに同じ読みが使われているよ。
- 二 1 「すすん」で「で」ていくことだよ。
- 2 「つかか」、「ついほう」の「つい」と同じ漢字だよ。
- 3 「なみ」の「あいだ」のことを「なみま」と言うよ。
- 4 「ばい」は「にんべん」だよ。
- 5 「移す」、「映す」とまちがえないようにね。

10 国語基礎力強化シート（漢字・小三）



100問勉強し
たよ！

／
10

分からないときは
ヒントを直せよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 細かい分担わたを決めておく。
- 2 一年前に上京じやうきやうした友達ともだちと会う。
- 3 深海の生物のなぞを探るさがす。
- 4 先生に暑中見まいのはがきを送る。
- 5 世界の広さを知る。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 あんごうあなごうを解説かいせつする。
- 2 さいじつさいじつに兄と出かける。
- 3 こうそくこうそく道路を車で走る。
- 4 姉のはつそう力ちからにはおどろかさされる。
- 5 家で二時間べんきべんきようする。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 送りがなが「かい」だから、「ほそい」ではないよ。
2 「上」は「うえ」ではないよ。 3 「深」も「海」も音読みだよ。
4 夏の終わりや秋の初めになってもまだ暑いことを「残暑」と言うよ。
5 「世」は「よ」や「せい」ではない読み方をするよ。
- 二 1 「あん」は「明」と反対の漢字だよ。「こう」は「きこう」と同じだよ。
2 「さい」は「まつり」という漢字を書くよ。
3 「こうそく」の反対は「低そく」だよ。「そく」は「はやさ」のことだよ。
4 「はつ」は「はつ案」「はつ見」と同じだよ。「そう」は「感そく」と同じだよ。
5 「べん」の漢字には「力」が使われているよ。